

**関東大震災から100年を契機とした様々なイベントを開催します！
～関東大震災を振り返り、逼迫する巨大地震への備えについて考える～**

今年、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年です。この機会に、関東大震災で何が起こったのかを振り返るとともに、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に対して、行政、民間企業、市民等による、さらなる備えについて考えることを目的として、シンポジウムや関東大震災ゆかりの地を巡るツアー、特別企画展等の様々なイベントを開催します。

【主なイベント概要】

1. 関東大震災100年シンポジウム～関東大震災から学ぶ今後の都市・インフラ整備～（別紙1参照）
日時：8月28日（月）14：00～17：00
場所：東京ビッグサイト
内容：基調講演及びパネルディスカッション
募集：7月初旬から募集を開始する予定です。募集についてはあらためてお知らせします。
2. 関東大震災特別企画展（別紙1参照）
日時：8月26日（土）～28日（月）9：30～17：00
場所：国営東京臨海広域防災公園
内容：関東大震災の被害や首都直下地震への対応等のパネルや災害対策車両等を展示
3. 関東大震災ゆかりの地を巡るツアー（別紙2参照）
日時：7月22日（土）、23日（日）
場所：都立横網町公園、神田明神、東京大学地震研究所等の都内各所
内容：武村雅之特任教授（名古屋大学減災連携研究センター）とともに、関東大震災にゆかりのある都内各所を巡ります。
募集：6月1日より以下URLから募集を行います。詳細は別紙2及び以下URLをご覧ください。
<https://www.unei-jimukyoku.jp/kantoushinsai100/>
4. リレーシンポジウム（別紙3参照）
関係機関が連携し、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県で開催（東京都は1月16日に実施済み）

この他、首都直下地震対応訓練（道路啓開訓練、緊急支援物資水上輸送訓練）等を開催予定

※日時や内容は変更になる場合があります。

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 課長補佐 橋爪、係長 長町
代表:03(5253)8111（内線：35739、35836）、直通:03(5253)8438

関東大震災 100年シンポジウム

～関東大震災から学ぶ
今後の都市・インフラ整備～



参加無料
定員 800名

今年、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年です。

この機会に、関東大震災で何が起こったのかを振り返るとともに、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に対して、行政、民間企業、市民等が連携した今後のまちづくりやインフラ整備をいかにしていくべきか、考える必要があります。

今回のシンポジウム及び特別企画展では、関東大震災100年を契機とし、改めて様々な主体による、さらなる備えについて皆様とともに考えていきたいと思っております。

2023年
日時 **8月28日(月)**
14:00～17:00(13:00受付開始)

Youtubeでも
同時配信予定

場所 **東京ビッグサイト 国際会議場**

最寄り駅:ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」(下車 徒歩約3分) /
りんかい線「国際展示場駅」(下車 徒歩約7分)

同時開催

関東大震災
特別企画展

参加
無料

日時:2023年8月26日(土)～28日(月)
9:30～17:00

場所:国営東京臨海広域防災公園

プログラム

基調講演 1 14:10～14:40
「関東大震災がつくった東京:
100年後の変容と首都直下地震」
講師:武村雅之氏(名古屋大学 特任教授)

基調講演 2 14:50～15:20
「失敗しない首都直下地震対策に向かって」
講師:河田恵昭氏(関西大学 特別任命教授)

パネルディスカッション 15:30～17:00
「関東大震災から学ぶ、今後の都市・インフラ整備」
◇コーディネーター
山崎 登氏(国土館大学 教授/元NHK解説委員)

◇パネリスト
加藤孝明氏(東京大学 教授) リチャード・クー氏(野村総研)
久田嘉章氏(工学院大学 教授) 東京都
小室広佐子氏(東京国際大学 教授) 国土交通省

会場内では関東大震災からの復興の軌跡などの資料も展示予定。

※今後内容が変わる場合があります。

申込方法

参加ご希望の方はホームページよりお申込みください。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index00000005.html>

募集期間:2023年7月初旬～8月初旬予定



※当ホームページより同時に5名までお申込みいただけます。※定員となり次第、締め切りとさせていただきます。※参加の可否は参加証の発送をもってかえさせていただきますので、当日は参加証をご持参ください。
※応募者の個人情報は当事業の運営にのみ使用いたします。※参加者の写真、映像がニュースや主催者のウェブサイトなどを通じて報道・掲載される可能性があります。予めご了承ください。

関東大震災 ゆかりの地を巡るツアー

～関東大震災を見聞し、
未来への備えにつなげる～

参加費

1,000円

各コース定員

30名

2023年 7月22日(土)・23日(日)

【募集期間】2023年 6月1日(木)～30日(金)

A コース 7月22日(土)

13:00	東京駅発(貸切バスで移動)
13:30	都立横網町公園 見学箇所: 東京都復興記念館、震災遭難児童弔魂像、石原町・緑町震災戦災追悼碑
14:30	隅田川の橋梁群(船上から視察) 見学箇所: 吾妻橋、蔵橋 など ※災害対策支援船「あらかわ号」に乗船し視察
15:00	浅草寺 見学箇所: 本堂、水吹きイチョウ
16:40	神田明神 見学箇所: 社殿、石獅子、黒焦げイチョウ
17:35	東京大学地震研究所 見学箇所: 設立記念碑、研究所内見学
18:45	東京駅着

※関東大震災で被災した港の施設巡りツアーも開催予定。実施日やツアーの詳細は後日HPにて公開します。

※スケジュールは現時点での案であり、今後変更する可能性があります。

※天候の状況などによりツアーの実施を中止させていただく場合がございます。その場合、2日前までに、中止のご案内をさせていただきます。

※当選者へは、参加証の送付と合わせ、参加費の支払い方法、集合場所などの連絡をさせていただきます。

B コース 7月23日(日)

13:00	東京駅発(貸切バスで移動)
13:30	都立横網町公園 見学箇所: 東京都復興記念館、震災遭難児童弔魂像、石原町・緑町震災戦災追悼碑
14:30	隅田川の橋梁群(船上から視察) 見学箇所: 吾妻橋、蔵橋 など ※災害対策支援船「あらかわ号」に乗船し視察
15:00	浅草寺 見学箇所: 本堂、水吹きイチョウ
16:40	都立上野恩賜公園 見学箇所: 上野大仏、不忍池
17:40	東京大学地震研究所 見学箇所: 設立記念碑、研究所内見学
18:50	東京駅着

ツアーガイド

武村 雅之

(名古屋大学減災連携
研究センター特任教授)

1981年東北大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)後、鹿島建設(株)プリンシパルリサーチャーなどを経て名古屋大学減災連携研究センター教授(現在特任)。著書に『関東大震災がつくった東京: 首都直下地震にどう備えるか』(中公選書、2023)など多数。



申込方法

参加ご希望の方はホームページよりお申込みください。

<https://www.unei-jimukyoku.jp/kantoushinsai100/>

申込締め切り:2023年6月30日(金)



※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。※参加の可否は参加証の送付をもってかえさせていただきますので、当日は参加証をご持参ください。※応募者の個人情報は当事業の運営にのみ使用いたします。※参加者の写真、映像がニュースや主催者のウェブサイトなどを通じて報道・掲載される可能性があることを予めご了承ください。

お申込みから出発までの流れ

WEBより
お申込み

受付
確認

抽選
※参加者多数の場合は
抽選となります。
ご了承ください。

—7月5日予定—
当選通知のご送付

ご入金

【当日】
出発

関東大震災から100年、 いま、体験を通して未来に備える!

教授とめぐる
遺構体験!

今年、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年です。

この機会に、関東大震災で何が起こったのかを振り返るとともに、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に備え、行政、民間企業、市民等が連携したまちづくりやインフラ整備をいかにしていくべきか、考える必要があります。

今回のツアーは関東大震災ゆかりの地をめぐり、被害状況、災害から得られた教訓、現在の東京をつくりあげた復興の軌跡から、さらなる備えについて皆様とともに考えていくために開催いたします。

A B 都立横網町公園

1922年東京市は、陸軍被服廠の移転に伴い跡地を買収し、公園の造成を進めていたところ、その最中に関東大震災が発生。まだ空き地状態だった被服廠跡に周辺の人たちが家から布団や家財道具を持ち出し、続々と避難してきたが、激しい炎は巨大な炎の竜巻、火災旋風を巻き起こし、一気に人々を飲み込み、この地だけでも多くの尊い命が失われた。

公園内には復興記念館や慰霊堂が建てられて、現在も災害の記録を伝承している。



東京都復興記念館

A B 隅田川の橋梁群(吾妻橋、厩橋など)※船上から視察

■吾妻橋 1885年7月の暴風雨で流出し、1887年に隅田川最初の鉄橋として架橋された橋梁。関東大震災では、木造の床が焼け落ち多くの尊い命が失われた。1931年6月には東京市の復興事業で架け替えられ、現在まで変わらぬ姿で利用されている。

■厩橋 元禄年間ごろから続いていた「御厩の渡し」のあった場所に、1874年に木橋がかけられたが、桁に木材を多用していたため、関東大震災では酷く損壊した橋梁。1929年に東京市による復興橋梁として架け替えられて現在に至る。



厩橋

A B 浅草寺

観音堂(本堂)、五重塔、宝蔵門は明治17年の区間整理、周辺を防火帯として家屋の高さや坪数を制限した施策や、防火用として存在したイチヨウの木が功を奏し、関東大震災では、奇跡的に焼け残った(その後1945年3月の東京大空襲で焼失)。特に、イチヨウは震災当時に、龍吐水のように水を吹いたとされている。



浅草寺

A 神田明神

関東大震災で焼失した社殿は、日本最初の本格的な鉄骨鉄筋コンクリート造が採用され、1934年に完成したものの、不燃化が功を奏し、1945年の空襲でも焼失せず、現在に至っている。石獅子は、関東大震災により獅子山自体は崩壊したが、親獅子二頭は保存され、再建された獅子山に据えられたもの。また、江戸の昔より育ったイチヨウの樹木は関東大震災で諸施設が炎上、崩壊したなか、残された数少ないイチヨウの根から育った若芽が、今でも親木を支えている。



社殿

B 都立上野恩賜公園

関東大震災では、東京市内の中心部がほとんど焼失する中で、広大な公園は焼けることなく、最大の避難地として、多く避難者を受け入れた。公園及び付近の避難者のため、池の端と竹の台にバラックを建設して人々を収容した。園内の美術学校校庭では、避難者の子弟のために野外国民学校が開設されるなど、災害時の犯罪発生のおそれや教育熱心な国民性は、今も変わらず日本の誇りと言える。また、不忍池の周辺や蓮は焼失を免れ、一面焼け野原となった東京で絶望の淵をさまよう人々に勇気を与えた。



上野ハコタ

A B 東京大学地震研究所

東京大学地震研究所は、地震・火山現象を科学的に解明し、それらに起因する災害を軽減することを使命とし、1923年の関東大震災を契機に1925年に設立された研究所です。地震・火山現象に加えて、その根源をなす地球内部構造や変動現象も研究しています。研究所内に様々な地震計や、地震・火山噴火に関する多くの研究成果が残されており、それらのいくつかを見学して頂きます。



地震研究所(全景)

【申込条件】・お申込み時点で18歳未満の方は、親権者の同意書が必要です。15歳未満の方は、保護者の同行を条件とします。・慢性疾患をお持ちの方、現在健康を損なっておられる方、お体が不自由な方、妊娠中の方、補助犬を同伴される方、その他特別な配慮を必要とする方はお申込み時に、その旨をお申し出ください。

【諸注意事項】①本企画は、「関東大震災100年事業事務局」より委託を受け東武トップツアーズ株式会社が手配をいたします。②抽選の結果は、7月5日(予定)にメールにてご案内いたします。③参加費のお支払いについては、当選案内に従い期日内にご対応ください。④参加費に含まれるもの(行程表に明示した貸し切りバス代、保険加入費及び諸経費)。⑤本ツアーで加入する保険の補償内容は、死亡・後遺症保険金額 300万円、入院保険金日額 4,400円、手術保険金 入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)の額をお支払いします。通院保険金日額 2,800円、賠償責任保険金額(免責金額0円)2,000万円、救護者費用等保険金額 10万円となり、保険料はおひとり様あたり300円となります。⑥出発地までの交通費は参加者の負担となります。

【お問合せ】 関東大震災100年事業事務局 TEL.03-5408-1020

リレーシンポジウム ～関係機関が連携し、各地域で開催～

東京都 都市の事前復興シンポジウム

日程 1月16日(月)実施済

場所 都庁第一本庁舎5階大会議場

茨城県 関東大震災100年リレーシンポジウム茨城

～来たるべき大規模地震に備えて～

日程 7月28日(金)

場所 クラフトシビックホール土浦 小ホール(茨城県土浦市東真鍋町2-6)

栃木県 関東大震災100年リレーシンポジウム栃木

～首都直下地震時の広域支援における栃木県の役割～

日程 7月27日(木)

場所 栃木県総合文化センター 特別会議室(栃木県宇都宮市本町1-8)

群馬県 防災・減災シンポジウム 関東大震災100年

～首都圏の大規模災害時における群馬県の役割～

日程 8月17日(木)

場所 群馬会館 2階ホール(群馬県前橋市大手町2丁目1-1)

埼玉県 関東大震災100年防災シンポジウムさいたま2023

～いま首都直下地震への備えについて考える～

日程 7月10日(月)

場所 ソニックシティ 小ホール

(さいたま市大宮区桜木町1丁目7-2 ソニックシティホール 2階)

千葉県 大災害から学ぶ千葉のインフラのあり方

～来るべき首都直下地震への備え～

日程 6月26日(月)

場所 千葉市役所 正庁ホール(千葉市中央区千葉港1番1号)

神奈川県 関東大震災100年リレーシンポジウム in 神奈川

～大震災から学ぶこれからの防災～

日程 7月27日(木)

場所 かながわ県民センター 2階ホール(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)

山梨県 関東大震災100年に学ぶ 山梨県における地震防災

～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～

日程 7月21日(金)

場所 山梨県立文学館 講堂(山梨県甲府市貢川1-5-35)